

児童発達支援自己評価

環境・体制整備	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		療育体制の基準を満たしており各活動に合わせたスペースを十分確保できています。
職員の配置数は適切であるか	○		人員配置基準を上回っています。
生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		施設内はバリアフリー化になっておりトイレも車椅子対応になっています。また、構造化した環境を準備し、幅広く障がい特性に応じた環境を整えています。
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の掃除を徹底しています。 身辺自立を行うスペースとサーキット活動等身体を使うスペースを分けています。

業務改善	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎朝全職員参加の報告の場を設け、課題に対して話し合いを行っています。また、ケース会議を通して目標の共有を行っています。
保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○		保護者様のご意向等をアンケートで把握し、業務改善につなげています。
事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今後も取り組んでいきます。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在実施の予定はありませんが、必要に応じて検討します。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		保護者様向け研修を通して資質の向上を行っています。また、法人内研修を通して学んでいます。

適切な支援の提供	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にあセスメントやモニタリングを行い児童発達支援計画を作成しています。
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化したアセスメントツールを使用し、評価を行っています。
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地	○		「発達支援」「家族支援」「地域支援」を盛り込んだ具体的な計画を立て、総合的な支援を設定するようにしています。

域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか			
児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		療育前に全職員で計画を確認し、活動に取り組んでいます。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティングやケース会議、主活動会議等を現場職員で行いチームでより良い療育を目指しています。
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		サーキット会議（主活動会議）を通し、個別の課題と集団の課題を盛り込むことで、プログラムが固定化しないように工夫しています。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの出来ることが増えるよう、保護者様と話し合い個別活動と集団活動を組み合わせています。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		翌朝行うミーティングの時に確認しています。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共通しているか	○		翌朝のミーティングの時に共有しています。
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回保護者様と職員と共有した記録をとり、また翌朝のミーティングの記録をとりながら支援の検証・改善につなげています。
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一回のモニタリングを基本に、変化がある場合はその都度、支援計画書の見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者及び子どもの担当職員が参加しています。
母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域の保健師、福祉課、相談支援事業所等と連携をとっています。
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		主に、相談支援事業所と連携をとりながら支援を行っています。 今後も関係機関と連携していきます。
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	○		連携がとれるように、支援会議や電話等を通して、関係づくりを行っています。

移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて移行支援の会議を開催しています。
移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて移行支援等の会議を開催しています。
他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		熊本県こども総合療育センターの支援や地域療育センター、他の圏域の児童発達支援センター等の助言を受けています。
保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○	同法人の保育所と交流する機会を設けていきます。
（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会の子ども部会に参加しています。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		親子療育のため毎回の療育時に保護者様と話し、共通理解を持つようにしています。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		親子療育を通して行っています。

保護者への説明責任等	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や変更時にわかりやすい言葉で説明するように心がけています。
児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		「個別支援計画書」を提示しながら、支援内容や手立てについて説明し、同意を得ています。
定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		親子療育時や来所の際に、必要な助言と支援を行っています。また、必要に応じて地域療育センター等と連携しながら支援を行っています。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会の活動に協力しています。また、年に1回お父様の集まりを開催しています。
子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		現場職員で対応が難しいときは、地域療育センターやこども総合療育センター等の支援を受けています。
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		行事予定表を作成しています。また、ホームページ等で行事等の報告をしています。

個人情報の取り扱いに十分配慮をしているか	○		同意書をとっています。
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		メモを活用するなど、その方に合った方法を行っています。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		同法人の行事（秋祭り等）に地域住民の方を招待して、地域に開かれた事業運営を図っています。

非常時等の対応	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の作成をしています。今後も定期的に避難訓練等を実施していきます。 また、保護者様への周知に関しては掲示板等を利用していきます。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		法人全体の訓練と事業所内の訓練を計画的に行っています。
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		主にアセスメント時に確認をし、てんかん等の対応法について保護者の方に記入していただいています。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	親子療育のため保護者様が対応されています。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		過去の事例を綴り、いつでも職員が閲覧できるようにしています。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内に委員会があり、法人内研修にも参加しています。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在対象の方はいらっしゃいませんが、身体拘束が必要な場合は子供や保護者の方への説明を行い了解を得たうえで、計画に記載し療育を行います。

放課後等デイサービス自己評価

環境・体制整備	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			療育体制の基準を満たしており各活動に合わせたスペースを十分確保できています。
職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を上回っています。
事業所の設備に等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			床、トイレ、水道等車いす対応ができるように配慮しています。

業務改善	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎朝全職員参加の報告の場を設け、課題に対して話し合いを行っています。また、ケース会議を通して目標の共有を行っています。
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		年度末に事業所作成の意向調査アンケートを実施し、保護者様の意向等を把握しながら業務改善につなげています。今後は、「保護者等向け評価表」を活用していきます。
この自己評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今回初めて実施しました。公開については、事業所内に掲示、また、登録されている方には配布していきます。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在実施の予定はありませんが、必要に応じて検討します。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			保護所向け研修を通して資質の向上を行っています。また、施設内研修を通して学んでいます。

適切な支援の提供	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			多数の職員の意見を通して、偏った見立てにならないようにしています。
子どもの適応行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化したアセスメントツールを使用し、評価を行っています。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングの時間をつくり、意見交換をしながら行っています。
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ミーティングの時間をつくり、意見交換をしながら行っています。

平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			療育時間や子どもの特性や課題に応じた活動内容を提供しています。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に合わせて個室での対応や、集団活動を計画的に行っています。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午後にミーティングの時間を設けて、打ち合わせ等を行っています。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共通しているか	○			翌朝行うミーティングの時間に記録をとりながら、職員間で共有しています。
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			目標に対して事実のみの記録を行い、翌朝のミーティング時に支援の検証・改善につなげられるようにしています。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基本的に半年に一回のモニタリングを行い、変化が見られた場合はその都度、支援計画書の見直しを行っています。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			圏域の事業所等と勉強会を行い、内容を確認しながら事業を展開し支援を行うようにしています。

関係機関や保護者との連携	はい	どちらとも いない	いいえ	改善目標、工夫している点
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が参加しています。
学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には、保護者様を通して連絡調整を行っています。難しい場合は、保護者様了解の下、学校に療育のご利用予定表を配り変更がある場合は直接学校と事業所と連携をとるようにしています。
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な方は、同法人の別事業を利用されています。
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援	○			情報共有を行っています。利用されている方の大半が、同じ事業所の児童発達支援事業か

事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				ら引き続き利用されているため、情報共有等に関して連携がスムーズです。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今のところ対象の方はいらっしゃいませんが、以前利用していたということで支援内容等の情報を提供したことがあります。
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			地域療育センターや熊本県こども総合療育センター等の支援を受けています。
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	平日はご利用時間等で難しいことが多いですが、長期休みを利用して取り組みたいと思います。
(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参画しているか	○			自立支援協議会の子ども部会に参加しています。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや送迎時、面接(モニタリング)等の時に話し合い、共通理解を持てるよう努めています。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			親子療育での取り組みを思いだし、振り返りながら支援方法の確認を行うことや、療育に参加していただき実際に関わり方の支援を行っています。

保護者への説明責任等	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更時に、分かりやすい言葉で説明するように心がけています。
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談の場を設定し応じています。また、送迎時や電話等でも相談を受けています。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親の会、勉強会、お父様の会等を通して行っています。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			法人全体で苦情解決チーム発足させポスター掲示をしています。また、苦情があった場合は速やかに苦情解決チームに報告するようにしています。
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子	○			月1回発行し、発信しています。また、法人のホームページにも掲載しています。

どもや保護者に対して発信しているか			
個人情報に十分注意しているか	○		契約時に同意書を頂いています。
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		その方に合った方法で配慮するようにしています。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		同法人の行事(秋祭り等)に地域住民の方を招待して、地域に開かれた事業運営を図っています。

非常時等の対応	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点な
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の作成をしています。今後も定期的に避難訓練等を実施していきます。 保護者への周知については掲示板等を利用していきます。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人全体の訓練と事業所内での訓練を計画的に行っています。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内に委員会があり、法人内研修にも参加しています。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在身体拘束を行うことはありませんが、必要な場合は組織的に決定し、本人・ご家族に十分説明し了解を得て、個別支援計画書に記載したうえで対応していきます。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、医師の指示書が必要な方がいらっしゃいません。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			過去の事例については綴り、いつでも職員が閲覧できるようにしています。